

＜がんサロン和み＞

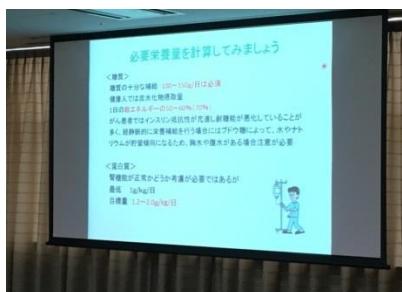
平成 30 年 3 月 10 日土曜日午後 1 時より、今年度 4 回目のがんサロンを開催しました。「がん治療中の食事について」をテーマに、当院緩和ケアチーム鈴木美智江がん病態栄養専門管理栄養士が講師をつとめました。当院入院・通院中の患者様とご家族、11 名にご参加いただきました。

がん患者さんの身体では、がん自体による栄養障害が生じており、さらに治療の影響で経口摂取が阻害され栄養障害が進行する可能性があります。

栄養障害が進行すると、倦怠感や意欲低下を伴うようになり、がん治療継続が困難になる場合があります。その予防として、患者さん自身が工夫し対策できることが大切になります。講義では、栄養障害の原因や食事工夫の具体例の紹介がありました。

参加された方からは、「食事が摂れずに焦る気持ちを抱えていたが、きちんと原因があり、自分が食べられない訳ではなく当たり前の事だったと知り、安堵できた。」という感想が聞かれました。どのような原因で症状が起きているのか、治療を受ける患者さん本人が理解することも大切であり、その理解が患者さんの不安軽減や闘病意欲維持に関連することを再認識させていただきました。

患者様・ご家族からいただいたご意見を今後の運営に反映させていきたいと思います。次年度は、2018 年 7 月に第 1 回目のサロンを開催予定です。内容は現在検討中です。



《鈴木美智江がん病態栄養専門管理栄養士》



《試食コーナー》